

令和3年度

『地域のプラットフォーム』としての更なる「^{しんか}深化×進化」

地域密着型金融の具体的な取組み



令和4年3月



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

目次

はじめに

1. 求められる役割と具体的施策
2. 新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた中小事業者への主な対応
3. 具体的な取組み事例
4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について
5. かぬましんきんSDGs宣言
6. 信用金庫役職員に求められること

はじめに

鹿沼相互信用金庫の概要

令和4年3月末現在

設立	大正14年10月27日		
所在地	鹿沼市上田町2331番地		
理事長	橋本 公之	役職員数	191名
預金残高	2,213億円	貸出金残高	1,063億円
店舗数	12店舗	主な営業エリア	鹿沼市、宇都宮市、日光市、栃木市

地域の概要

	鹿沼市	日光市	宇都宮市	栃木市
人口	92,603	78,172	514,873	156,140
世帯数	36,372	36,461	233,771	66,219
事業所数	4,690	4,331	21,906	7,032

【典拠】

人口・世帯数統計：各市HP直近データ等
事業所数：H28年経済センサス



1. 求められる役割と具体的施策

(1) 地域密着型金融推進の3つのテーマ

- ① 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的再生への積極的な参画
- ③ 地域や利用者に対する積極的な情報発信

(2) 地域のプラットフォームを目指した4つの具体的施策

- ① 広域連携
- ② 産学官金の連携
- ③ 外部専門機関の活用
- ④ 地域金融の円滑化



(3) 地方創生への参画・貢献

- ① 地方版総合戦略(地方創生)への協力
- ② 企業の経営課題解決への支援

1. 求められる役割と具体的施策

■ 事業づくり、企業づくり、産業づくりをとおして地域づくりを担う地域のプラットフォームを目指します。

(4) 地域経済活性化への取組概要図



2. 新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けた中小事業者への主な対応(令和2～3年度)

(1) コロナ関連融資の積極的なご提案による資金繰り支援(取扱い開始当初からの実績)

支援実績 総実行件数1,320件 融資実行総額 20,185百万円(令和4年3月末現在)

(2) 各種公的支援制度(補助金等)を活用した中小事業者の経営課題解決支援

- | | |
|--------------------------|------------|
| ① 「事業再構築補助金」 | 申請支援件数 50件 |
| ② 「ものづくり商業サービス補助金」 | 申請支援件数 8件 |
| ③ 「鹿沼市新型コロナウイルス感染症対策補助金」 | 申請支援件数 31件 |

(3) 中小企業者の販路拡大支援、販売促進支援、人材支援

① 販路拡大支援

- ・各種WEB商談会等を活用した販路拡大支援を実施
- ・しんきん地域創生ネットワーク(株)が提供する地域商社事業を活用した販路拡大支援を開始
- ・信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」による支援を開始

② 販売促進

- ・ショッピングアプリ「BASE」を活用したネット販売による販売促進支援 出店紹介先:17社
- ・(株)八百半フードセンターと協力し、地元飲食事業者を応援「食べて元気にスマイルプロジェクト」の開催による販売促進支援、令和3年4月16日～18日、3日間、8社と連携し開催

③ 人材支援

- ・パーソルホールディングス(株)と令和2年9月1日付で業務提携。同社運営の新卒採用支援サイト「dodaキャンパス」および中途採用支援サイト「マイダス」の採用支援サービスを活用し、人材不足が深刻化している取引先への支援に取り組み、合計157社を支援
- ・経営課題を抱える取引先事業様と、大手企業などを退職した実務経験豊富な人材とのマッチング交流の実施
- ・東京東信用金庫(東京都)の主催する「ひがしん新現役交流会」への参加

3. 具体的な取組み事例 広域連携

(1) 信用金庫や地域金融機関ネットワーク活用による販路拡大

① 信用金庫の連携によるビジネスフェアへの参加

令和4年3月現在

実施時期	内容	参加企業
令和3年4月16～18日	地元企業応援企画「ヤオハン食べて元気にスマイルプロジェクト」開催	取引顧客8社参加
令和3年10月25～令和4年1月2日	さいしん特産品オンラインショップ 粋	取引顧客2社参加
令和3年10月29日～11月19日	信金中央金庫「オンラインビジネスフェアしんきんフードEXP2021」オンライン開催	取引顧客2社参加
令和3年11月8日	東京東信用金庫「新現役交流会」	取引顧客2社参加
令和3年11月24日	東京東信用金庫「ひがしんビジネスフェア2021オンライン」	取引顧客3社参加
令和3年12月1日～12月24日	中小企業基盤整備機構「新価値創造店」オンライン開催	取引顧客3社参加
令和4年3月10日	東北地区信用金庫協会「ビジネスマッチ東北2021春」	取引顧客4社参加 (パイヤー1社含む)

② 栃木県内金融機関の連携によるビジネスフェア等の開催

令和4年3月現在

令和3年10月27日	「ものづくり企業」展示・商談会への開催	主催：足利銀行 共催：県内信金・信組	取引先顧客13社参加
------------	---------------------	--------------------	------------

③ 信用金庫ネットワークを活かした観光誘客の推進

鹿沼市、日光市、(一社)日光市観光協会との連携による観光誘客(令和3年3月末現在)

実施時期	誘客信用金庫・団体	誘客人数
平成24年度～令和元年度	累計78信用金庫、2団体、1社	累計26,408名

※令和2年度～3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、取組みはありませんでした。

3. 具体的な取組み事例 広域連携

- ④ 信金中央金庫による支援策の活用
- 地方創生にかかる取組み
 - 当金庫作成、観光誘客のための「悠久の地・日光への誘い」の発信
 - 通販大手と連携したビジネスマッチング
 - 海外への向上進出・販路拡大(タイ・ベトナム・アメリカ等)
- ⑤ 海外展開への支援策の活用

実施時期	商談会	主催	参加顧客数
平成31年2月15日	インバウンド商談会	信金中央金庫	取引先顧客1社参加
平成31年3月19日	インバウンド&全国逸品商談会		取引先顧客1社参加
令和 2年2月25日	インバウンド・ソリューション・フェア		取引先様顧客1社参加 商談件数4件

(2)互いの信用金庫の持つ特性を活かした連携によるお客さまや地域の支援

- ① 東京東信用金庫との「業務提携基本協定書」締結
- ・締結日:平成27年12月16日
 - ・「ビジネスマッチ鹿沼」・「ひがしんビジネスフェア」への出展協力
 - ・年金旅行を通じた観光連携(平成30年3月「ひがしんわいわいツアー」で鹿沼市、日光市へ3,074名を誘客)
 - ・経営者の会の相互交流
 - ・新入職員研修による視察の実施
 - ・「かぬま秋祭り」への来訪
- ② 徳川家康公とゆかりのある9信用金庫による地域活性化に向けた連携
- ・平成27年11月1日 8信用金庫間で「地域活性化に向けた業務連携に関する覚書」の締結
 - ・平成28年6月15日(信用金庫の日) 1信用金庫連携参加し、9信用金庫で再締結
- ③ 会津信用金庫との「観光振興連携協力に関する連携協定書」締結 締結日:令和元年7月1日
- 両金庫の営業エリア(東武鉄道、野岩線沿線エリア)において、以下の取組について相互協力する。
- ・観光、インバウンド誘致に伴う相互協力
 - ・交流人口、観光消費拡大に資する事業
 - ・その他の地域活性化に資する事業
 - ・「わがまち基金」を活用した地方創生

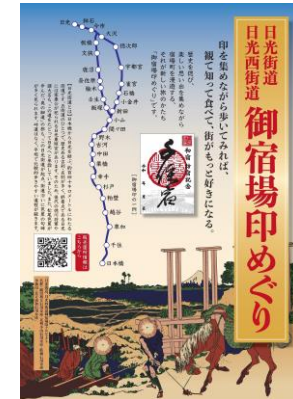
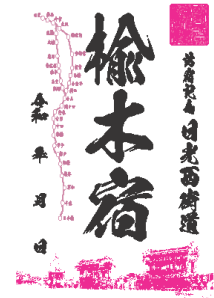


※順不同

3. 具体的な取り組み事例 広域連携

(3) 「日光街道・日光西街道 御宿場印プロジェクト」について

令和3年7月より、鹿沼相互信用金庫が、足立成和信用金庫(東京都)、足利小山信用金庫(栃木県)、結城信用金庫(茨城県)と共同で開始した事業であり、日光街道・日光西街道沿いの宿場町を「御宿場印」として表現し、各地の観光協会等で販売を開始した。「御宿場印」を集めることで、コロナ禍であっても地域の人流を生むことができるマイクロツーリズムの活性化策として展開している。



(4) 「御宿場印めぐりモニターツアー」について

令和3年11月に、鹿沼相互信用金庫が、足立成和信用金庫(東京都)、足利小山信用金庫(栃木県)、結城信用金庫(茨城県)と共同で、鹿沼市～今市の各宿場の魅力を紹介する「御宿場印めぐりモニターツアー」を開催した。

(5) 「会津西街道 御宿場印プロジェクト」のスタートについて

会津信用金庫と連携して御宿場印を会津まで延伸するプロジェクトを開始した。令和4年5月より販売を開始した。



3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

(1) 地方創生への取組み 地方版総合戦略(地方創生)への協力

① 鹿沼市との連携・取組み

- ・令和3年8月に、鹿沼市、鹿沼相互信用金庫およびしんきん地域創生ネットワーク(株) (信金中央金庫の子会社)は、鹿沼市における観光振興を通じた地域経済の活性化を目的として、しんきん地域ネットワーク(株)が行う、地方自治体向け「地方創生コンサルティング事業」について、全国初の案件として、「コンサル業務受託案件業務委託契約」を締結した。
- ・令和4年3月30日、しんきん地域創生ネットワーク(株)が鹿沼市と当金庫に対して、アンケート調査等に基づく「ニューツーリズムの整理」と「地域資源を活用した、具体的な旅行商品提案」にかかる答申書を提出した。
- ・鹿沼市、鹿沼相互信用金庫およびしんきん地域創生ネットワーク(株)は、連携協定以前から、相互に連携した活動をしており、鹿沼市観光施設の活性化や第3セクターへの提言等、地域活性化に向けた取組を進めていた。

② 日光市との連携・取組み

- ・平成27年5月より「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」の委員へ職員(今市支店)を派遣して参画した。
- ・令和2年4月2日に、「日光市と民間企業との協働に関する提案募集制度」を活用し、「よい仕事おこしフェア実行委員会」の協賛金庫である当金庫が仲介して、日光市と「よい仕事おこしフェア実行委員会」との間に、地域の活性化と産業の振興を図るための包括的連携協定を締結した。
- ・「よい仕事おこしフェア実行委員会」と当金庫が連携し、「多言語観光情報サイトGuidoor(ガイドア)」を構築している、「一財)モバイルスマートタウン推進財団」を、日光市へ紹介した。
その結果、日光市・一社)DMO日光・一財)モバイルスマートタウン推進財団の3者で、令和2年10月26日に、「インバウンド観光推進に関するパートナーシップ協定」を締結した。

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

(2) 公共団体・商工会団体・大学などを活用した地域活性化

<p>① 国のすすめる「地域プラットフォーム」事業への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「かぬま広域支援ネットワーク」(鹿沼商工会議所代表機関) ● 「とちぎ未来創造カンパニー」(宇都宮商工会議所代表機関) 	<p>⑦ 栗野商工会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「包括連携協定」締結(令和元年12月2日)
<p>② 産業競争力強化法に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 栃木県事業承継・引継ぎ支援センターとの認定登録支援機関としての連携強化 ● 「かぬま創業支援ネットワーク」参画(令和3年10月26日) 	<p>⑧ 日光商工会議所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「包括連携協定」締結(令和3年4月16日)
<p>③ 栃木県との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「知的財産ビジネスマッチング交流会」後援 	<p>⑨ 宇都宮大学との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「宇都宮大学産学官金コーディネーター」委嘱
<p>④ 鹿沼市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ビジネスマッチ鹿沼」協力・準備 ● 鹿沼市花木センターの中期経営計画書作成支援 ● 鹿沼市企業支援センターへの参画 ● 鹿沼産材利用者への優遇措置住宅ローンの取扱い 	<p>⑩ 大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィスとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「学生&企業研究会」協賛後援 ● 大学研究機関が持つシーズを活用した取引先企業の課題解決
<p>⑤ 日光市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「日光市ビジネス交流会事業」協力 ● 「日光市観光推進協議会誘客推進部会」協力 ● 「日光市創新塾」参加 	<p>⑪ 栃木県産業振興センター知的財産支援部の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特許知財をもとにした取引先企業の事業評価書作成支援
<p>⑥ 鹿沼商工会議所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「地域力活用新事業∞全国展開プロジェクト」参画 ● 「事業承継バトンタッチ支援隊事業」参画 ● 「包括連携協定」締結(令和元年11月5日) ● 「かぬま創業塾」への参加(令和3年度は3回実施) ● 「次世代経営リーダー塾」の後援 	<p>⑫ 産学官金連携サテライトオフィス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事業者への新製品・新技術・建築工法の効果検証、特許取得支援など
	<p>⑬ 「かぬましんきん経済セミナー」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 宇都宮大学、産学官連携サテライトオフィス、公共団体、商工団体等と連携した経済セミナーを開催し、地域の経営者への情報発信を行っています。 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施しませんでした。

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

(3) 外部専門機関と連携した中小事業者支援

- ① 事業承継支援
 - ・鹿沼商工会議所との連携による「バトンタッチ支援隊事業」を開始し、令和3年度は29回、122社に対して鹿沼商工会議所職員と帯同訪問を実施、累計50件の相談を受付した。
 - ・「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」との連携による後継者不在の事業者に対する支援を実施し、令和3年度は、38件の相談を受付した。
 - ・令和3年8月、鹿沼市内の酒類販売業者による県北の清酒製造業を譲受するM&Aを支援した。
- ② 創業支援
 - ・創業者を支援するための日本政策金融公庫との協調融資商品「創世起」等を活用し、令和3年度は8件の支援を実施した。
- ③ クラウドファンディング
 - 令和4年3月、クラウドファンディング事業者(株)CAMPFIREと業務提携し、クラウドファンディングによる事業者のテストマーケティング等への取組支援を開始した。

(4) かぬましんきんビジネスクラブリアン～絆～の活動

・発足日	平成29年6月19日
・活動目的	会員事業所間の相互交流と、経営に関する啓発・情報交換・親睦により経営資質の向上を図るとともに、地域経済の発展に貢献することを目的とする。
・会員数	244名(令和4年3月末現在)
・活動内容	講演会、研修会、会員交流会の開催 他 信金の経営者の会との交流 他

【活動実績】

- ・令和元年 7月 定期総会
- 9月 視察研修会(大相撲九月場所観戦)
- 12月 講演会(講師:春日武之)
- ・令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各事業の実施は見送った。
- ・令和4年 7月 定期総会(開催予定)
- 9月 視察研修会(大相撲九月場所観戦)(開催予定)

3. 具体的な取組み事例 外部機関

(1) 関東経済産業局が進める「金融連携プログラム」等の活用

① 関東経済産業局・栃木県・鹿沼市による中小企業支援補助金の活用

事業再構築補助金					ものづくり補助金			鹿沼市新型コロナウイルス感染症 対策経営強化補助金
令和2年度3次補正					平成30年度 補正予算	令和元年度 補正予算	令和2年度 補正予算	令和3年度
1次公募	2次 公募	3次 公募	4次 公募	5次 公募	20件申請 10件採択	13件申請 6件採択	8件申請 4件採択	31件
8件申請 4件採択	6件申請 2件採択	11件申請 2件採択	9件申請 4件採択	5件申請中				

経営力向上計画		
令和元年度	令和2年度	令和3年度
2件認定	0件認定	2件認定

先端設備導入計画		
令和元年度	令和2年度	令和3年度
10件認定	6件認定	3件認定

② 中小企業支援ネットワーク事業の活用

専門家等派遣： 中小企業119・よろず支援拠点等の活用

- ◆中小企業119 6件
- ◆よろず支援拠点 3件

3. 具体的な取り組み事例 外部機関

(2) 「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」の活用による事業承継支援

鹿沼相互信用金庫から栃木県事業承継・引継ぎ支援への相談紹介実績

- 平成27年度 2件
- 平成28年度 15件
- 平成29年度 35件
- 平成30年度 15件
- 令和元年度 22件
- 令和 2年度 20件
- 令和 3年度 38件

(3) 各経済団体との連携による事業承継支援

- ◆鹿沼商工会議所 「バトンタッチ支援隊」活動内容
連携会議 13回 同行訪問 122先
- ◆粟野商工会
連携会議 9回
- ◆日光商工会議所
連携会議 8回 同行訪問 13先

3. 具体的な取組み事例 地域金融円滑化

① 地域企業支援検討会の開催による資金繰りの支援

【支援実績】

- 平成27年度 527件、5,704百万円
- 平成28年度 510件、5,610百万円
- 平成29年度 582件、6,083百万円
- 平成30年度 522件、6,232百万円
- 令和元年度 672件、5,084百万円
- 令和2年度 189件、2,026百万円
- 令和3年度 190件、2,155百万円

※令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、下半期分のみ開催

② 令和3年度 地域創生応援資金の活用

【支援実績】

- 創業・開業資金「創世起」等 7件、27百万円
- 地域支援資金「ちから」 43件、86百万円
- 農業者向け資金「ハーベスト」 9件、26百万円
- 短期継続運転資金「ワンナップ」 17件、241百万円

③ 令和3年度 栃木県・各市制度融資の活用

【支援実績】

- 鹿沼市 42件、267百万円
- 日光市 1件、3百万円
- 宇都宮市 6件、16百万円
- 栃木県 12件、114百万円

※コロナ関連融資は除く

専門的な人材の育成

- 宅地建物取引士 6名
- AFP 7名
- FP技能士1級 1名
- FP技能士2級 25名
- FP技能士3級 20名
- 介護福祉経営士 1名
- 事業承継士 1名
- 農業経営アドバイザー 6名
- 動産アドバイザー 1名
- 事業承継シニアエキスパート 1名
- M&Aシニアエキスパート 1名

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について （「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した当金庫の取組状況）



① 金融仲介機能のベンチマーク

鹿沼相互信用金庫は、「地元の繁栄なくして金庫の発展はない」という経営理念を掲げ、これまでの地方創生や地域活性化に積極的に取組みしてまいりました。

特に、平成26年度からは、「地域のプラットフォームとしての取組み」(※1)を当金庫の最重要課題に定めて、お客様の課題解決支援への取組みを強化しております。

こうしたなか、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「金融仲介機能のベンチマーク」(※2)を公表しております。

鹿沼相互信用金庫は、このベンチマークを効果的に活用しながらお客さまのニーズや課題に積極的に取組み、地域経済の活性化に向けた金融仲介機能を発揮してまいります。

(※1)「地域のプラットフォームとしての取組み」とは

鹿沼相互信用金庫は、地域の「事業づくり」「産業づくり」を通じた「地域づくり」を目指しており、全てのお客さまの相談場所としての「地域のプラットフォーム」となることを最大の経営課題として諸施策に取組みしております。

(※2)「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」(5項目)と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」(50項目)を公表しております。

また、これらに加えて、独自の指標として、「独自のベンチマーク」があります。

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について (「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した当金庫の取組状況)

② 金融仲介機能のベンチマークへの取組方針について

鹿沼相互信用金庫では、毎年、事業計画を策定しており、その中で営業戦略を定めております。
この営業戦略に基づき、「金融仲介機能のベンチマーク」に掲げられた項目のうち業務運営の結果を的確に把握、分析、自己評価するために必要と判断した項目について選択し、とりまとめております。

選択した項目のうち、現時点でお客さまに開示するにふさわしいと判断したベンチマークについて、以下のとおり抜粋して開示いたします。

イ「共通ベンチマーク」から選択したベンチマークは、①～②の2項目です。

		令和2年度				令和3年度			
		条件変更先	好調先	順調先	不調先	条件変更先	好調先	順調先	不調先
取引先企業の抜本的 事業再生等による 生産性の向上	①当金庫が貸付の条件変更を行っている中小企業の 経営改善計画の進捗状況（共通ベンチマーク2.）	36先	10先	12先	14先	36先	9先	12先	15先
	②当金庫が関与した創業、第二創業の件数 （共通ベンチマーク3.）	創業件数 11件		第二創業件数 0件		創業件数 8件		第二創業件数 0件	

ロ「選択ベンチマーク」から選択したベンチマークは、③～⑥の4項目です。

本業(企業価値の向上) 支援・企業のライフ ステージに応じた ソリューションの提供	③販路開拓支援を行った先数(地元-地元外-海外別) (選択ベンチマーク18)	ビジネスフェア 等出展先 34先	個別商談 紹介先 41先	ビジネスフェア 等出展先 39先	個別商談 紹介先 56先
	④事業承継支援先数（選択ベンチマーク21）	事業承継支援先 20先		事業承継支援先 38先	
人材育成	⑤取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、 研修等への参加者数、資格取得者数 (選択ベンチマーク39)	各種研修は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止		研修会の実施 2講座 21名	各種資格者 70名
他の金融機関及び中小 企業支援策との連携	⑥取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の 活用を支援した先数（選択ベンチマーク43）	外部機関活用先 34先	令和元年度補正ものづくり補助金 申請件数・・・13件 採択件数・・・6件	外部機関活用先 47先	令和2年度補正ものづくり補助金 申請件数・・・8件 採択件数・・・4件 令和2年度3次補正 事業再構築補助金 申請件数・・・39件 採択件数・・・12件

ハ「独自ベンチマーク」から選択したベンチマークは、⑦の1項目です。

広域連携による 観光誘客	⑦信用金庫のネットワークを活用した観光誘客の 推進(件数・人数)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため自粛	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため自粛
-----------------	-------------------------------------	------------------------	------------------------

5. かぬましんきんSDG宣言

かぬましんきんSDGs宣言



かぬましんきんは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、地域のプラットフォームとして、豊かな地域社会の実現に向けて様々な活動を行なっています。

地域のプラットフォーム 鹿沼相互信用金庫

1. 地域経済の発展

- 外部機関との連携による中小企業の経営支援
- 信用金庫のネットワークを活かした販路拡大支援・観光振興への取組み
- 互いの信用金庫と連携した地域の支援
- 地方再生への取組み
- 創業・新事業支援
- 事業承継支援
- 中小企業の人材支援



2. 地域社会への貢献

- お客様組織を通じた地域との絆づくり
- 地域行事への積極的な参加
- 地域の図書充実への協力
- 「小さな親切」運動への参加



3. 地域社会の環境保全

- 環境問題に配慮した融資商品の取扱い
- 環境負荷低減に向けた取組み
- 環境改善に向けた取組み



5. 安心できる地域社会の実現

- 金融犯罪撲滅へ向けた取組み
- 反社会勢力の排除に向けた取組み



4. 地域を担う人材づくり 働きがいのある職場づくり

- 大学機関、商工団体等と連携した地域の未来を担う人材づくり
- 女性躍進、子育て支援等を通じた働きがいのある職場づくり



6. 信用金庫役職員に求められること ～地域創生のリーダーを目指して～

企業・個人のお客さまに長く寄り添い、「お客さま本位の営業」に徹し、「お客さまと共通の価値」を創造し、ともに「発展」する。

(1) 中長期的な取組み

地域社会の持続的な発展に貢献する

(2) 短期的な取組み

貢献するために必要な収益と取引基盤を確保する

(3) 組織を活用する

全役職員がいきいきとその力を発揮できる金庫を創る

地方創生への積極的な関与

地域経済の活性化

経営基盤の強化

5年・10年先を見据えた課題

- ① 金融仲介機能の質の改善に向けた取組み
- ② 地方創生に向けた金融仲介の取組みに係る多様なベンチマークの検討
- ③ 事業性評価およびそれに基づく解決策の提案・実行支援
- ④ 持続可能なビジネスモデルの構築およびビジネスモデルに起因するリスクへの対応
- ⑤ 持続可能性を支える経営管理体制の強化

(4) トピックス

- ① 栃木県内事業所のメイン取引金融機関に、(株)帝国データバンクが栃木県内2万2千社対象に調査したメインバンク実態調査で、全業種総合で足利銀行、栃木銀行、群馬銀行に次いで、当金庫が県内4位の評価を得た。(令和2年度)
- ② 第11回「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞実行委員会特別賞を受賞した。この賞は、「人を大切にする経営学会」が主催しており、当金庫の地域のお客さまや地域社会に真に寄り添う経営姿勢が評価された。